



3/24 経済産業委員会
いそざき哲史議員

次世代エネルギー自動車普及の環境整備を訴える!

自動車産業として取り組むべき、電動車の普及と水素社会の実現に向け
電気充電設備、水素ステーションのインフラ拡充を求め

▶ 電動化を進める上で、最も時間を要し継続的な対応が求められるのがインフラ整備の充実であることから、**早急な水素ステーション・急速充電器等の新規設置・保守の整備、並びに過去整備した設備の定期的なメンテナンスも含めた管理を求め**



2030年、充電器30万口/水素St.1000基の設置目標に向け、さらなる加速が必要

!! 自動車総連の重点要望!!

【次世代エネルギー車普及に向けた 電気充電設備・水素ステーションの拡充】

- 2035年:乗用車の新車販売で電動車100%達成に向け、インフラの整備は必須。
- 電気充電・水素充填インフラの設置ペースはまだまだ加速が必要な状況

水素St.整備など、過去には国が目標を立てたものの、いつのまにか優先度が下がり普及が進まなくなることあるんだ! 要望継続は大事だよ!



▶ 充電インフラの予算状況・目標は?

2030年までに充電設備30万口設置を目指す中、現状は4万口に留まる。
目標達成には、今後、毎年約4万口増やす必要があるが、目標に対する進捗をどのように捉えられているのか?

【経済産業省 伊吹局長】の答弁は動画をご視聴ください



いそざき哲史
参議院議員

▶ 都市部に比べ北海道・東北・北陸などは充電インフラが不足している

【いそざき哲史 参議院議員】充電設備について、北海道、東北、北陸などの地域では充電設備があまり見当たらないといった**地域差があるという声が届いている。**

【経済産業省 伊吹局長】の答弁は動画をご視聴ください

▶ 高速道路での充電渋滞・急速充電器の維持コストは?

【いそざき哲史 参議院議員】**高速道路では充電待ちが問題になっている。**
一方、急速充電器は電気の基本料金が高く、事業者負担が大きい。高出力化に伴い高額になる料金体系から使用量を基準としたリーズナブルな体系に見直す等が必要ではないか!

【資源エネルギー庁 久米部長】の答弁は動画をご視聴ください

【いそざき哲史 参議院議員】**電動車普及には事業者の維持コストを下げ、売電価格の引き下げが必要となる。**上記のとおり、**料金見直しができる環境がある等の情報を事業者とも共有を広げ、更なるインフラの整備・拡充をお願いしたい。**

本件に関するお問い合わせ・ご感想は自動車総連 政治・政策局までご連絡ください。

(右のQRからご入力いただけます)

本質疑詳細内容は、インターネット審議中継にて録画をご覧になれます。

<https://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>

